

# 飯田国道 NOW

地域と連携した  
緑の道づくり

国土交通省 中部地方整備局  
飯田国道事務所

〒395-0024  
長野県飯田市東栄町3350番地  
電話 (0265) 53-7200 (代表)  
ファックス (0265) 53-7210  
E-メール iikoku@cbr.mlit.go.jp

飯田国道事務所からのお知らせ

平成25年11月 6日

## 国道19号 鳥居トンネルの天井板 撤去を含む大規模補修を行います。

### 1. 概要

飯田国道事務所では、国道19号の鳥居トンネルについて、自動車の排ガスの低減によりジェットファンで換気が可能であること、今後の点検作業の低減など管理の合理化を踏まえ、天井板撤去を含む大規模補修工事を平成25年度から平成27年度にかけて行います。

補修工事全体のうち、天井板撤去期間中にあたる平成26年のゴールデンウィーク明けから8月上旬までの交通規制は、**終日片側交互通行**を予定しています。それ以外の工事では必要に応じて平日昼間に片側交互通行を予定しています。

長期にわたる交通規制となるため、ご通行の皆様にはご迷惑おかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 2. 工事内容（時期については別紙参照）

- ・補修の準備工事
- ・天井板撤去工事
- ・トンネル補修工事
- ・設備補修工事
- ・舗装、排水補修工事

### 3. 工事場所

長野県木曾郡木祖村藪原ながのけんきそくんきそむらやぶはらから塩尻市奈良井しおじりしならい（鳥居トンネル）とりい

### 4. 記者発表資料 配布先

長野県庁会見場、塩尻市桔梗ヶ原記者クラブ、木曾合同庁舎記者室、伊那市役所記者クラブ、飯田市役所記者クラブ、駒ヶ根市役所記者クラブ

### 5. 問い合わせ先

飯田国道事務所

副所長 唐澤 良治 管理第二課長 澤田 敦則

TEL 0265-53-7200 FAX 0265-53-7210

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910**（通話料無料・24時間受付）

飯田国道事務所ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/>  
飯田国道事務所モバイル <http://www.cbr.mlit.go.jp/iikoku/mobile/>

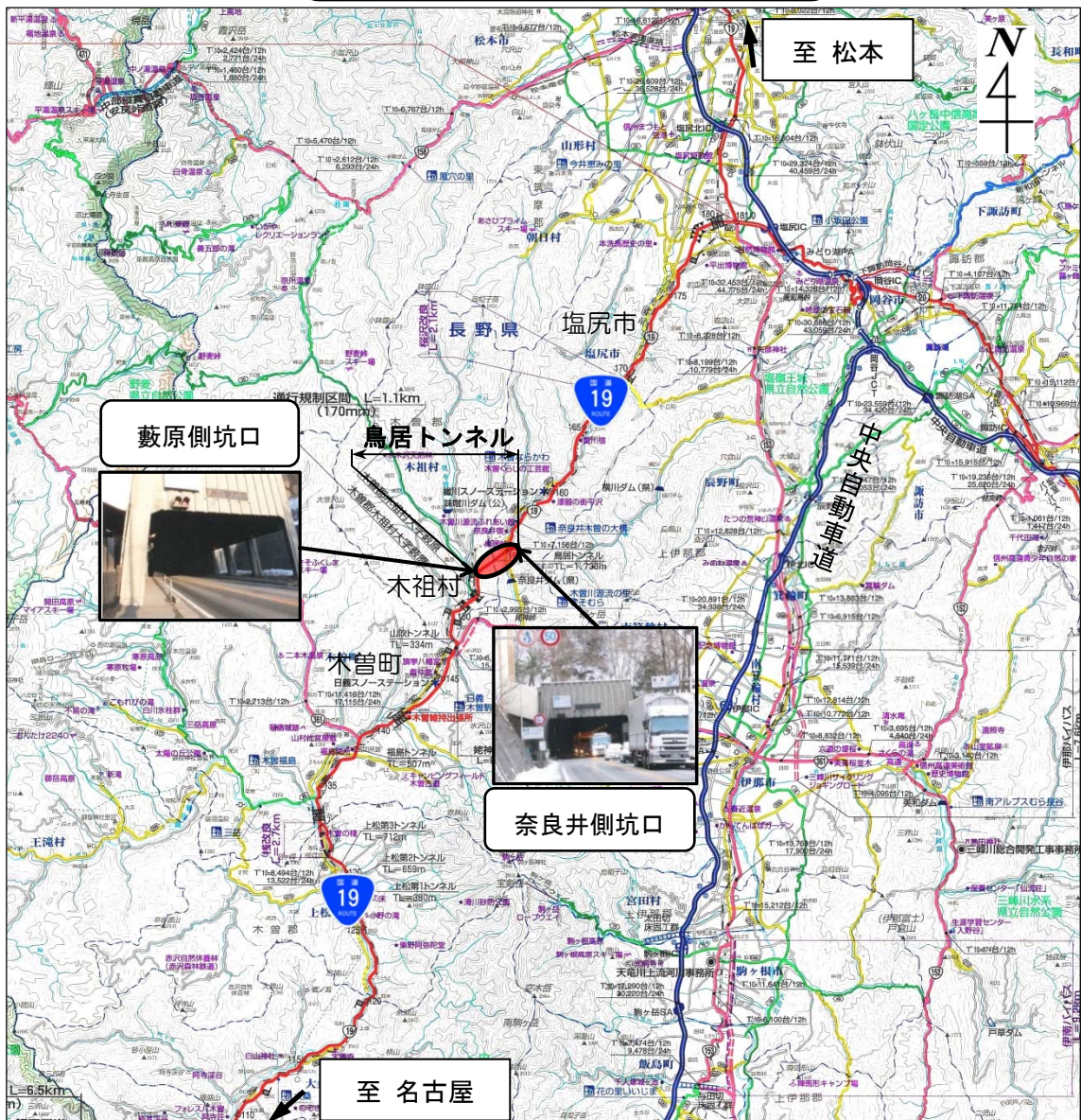
# 概要

国道 19号鳥居トンネルは、昭和 53 年度に供用し、現在まで 35 年にわたり、中京圏と木曽地区、中信及び北信を結び重要な幹線道路の一部として利用されています。

現在のトンネル換気は、天井板を有する「半横流換気方式」が採用されていますが、自動車排出ガス規制の強化による排気ガス排出量の減少等により、ジェットファンによる「縦流換気方式」に変更が可能となりました。

本事業は、現在設置されている天井板を撤去して新たな換気方式に変更するとともに、老朽化しているトンネル施設の補修を集中的に実施するものです。

## 鳥居トンネル位置図





# 鳥居トンネル補修事業全体の概要

## ■鳥居トンネルの概要

- 延 長；1,738m
- 幅員構成；車道（3.25×2）＋路肩（0.25＋0.50）  
＋歩道 1.25 = 8.50m
- 有効高さ；4.7m（高さ制限 4.4m）
- 換気方式；半横流式 ※
- 完成年次；昭和 53 年
- 交通量；18,033 台/日（H22 センサス）

## ■事業計画

平成 25 年度内に天井板撤去に必要な調査、設計を完了させ、天井板上部で漏水防止等の準備工事を行います。

平成 26 年度 GW 明けより天井板撤去を開始、あわせてトンネル本体の老朽箇所（ひび割れ補修、漏水防止対策、内照板等）の補修・補強を行います。

また、天井板の撤去と同時期に、新たな換気設備としてジェットファンの制作や老朽化した防災設備（消火栓、テレビカメラ等）の製作を行い、撤去後に設置を行います。

調査結果により舗装の補修が必要な場合は舗装補修や排水工事を行って補修工事の完了とします。

（事業予定）

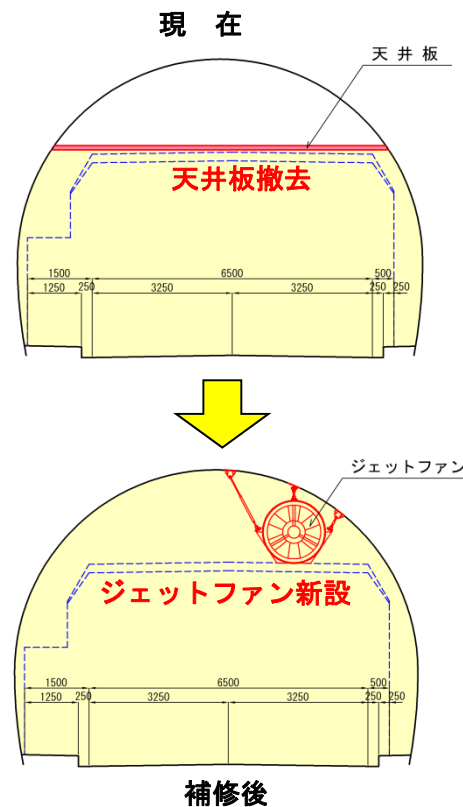
	平成 25 年度		平成 26 年度			平成 27 年度					
	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	
事業計画	補修準備工事										
			天井板撤去工事（詳細は次ページ）								
			トンネル補修工事			舗装・排水工事（損傷度合いに応じて実施）					
			ジェットファン等設備補修工事								
交通規制			終日片側交互通行								
	必要に応じて平日昼間片側交互通行										

○変更がある場合があります。

現在の鳥居トンネル



トンネル内の状況



※半横流式換気方式：両側の坑口に設置された換気所から、新鮮な空気を天井板の上の空間を使ってトンネルの中に送り込み、トンネルの横壁面からトンネル内に送ります。排気ガスは両側の坑口から排出されます。

# 天井板撤去の工法の詳細と影響

## 天井板撤去施工概要

- ・一般車両防護工（作業台）を2基坑内に設置し、その上部で天井板を撤去します。
- ・天井板の取り外し作業は主に人力作業となります。（天井板1枚あたり重量93kg）
- ・撤去した天井板はトラック等に積替えて搬出します。
- ・天井板撤去時には、あわせて他の補修工事も行います。

## 通行規制方法と時期

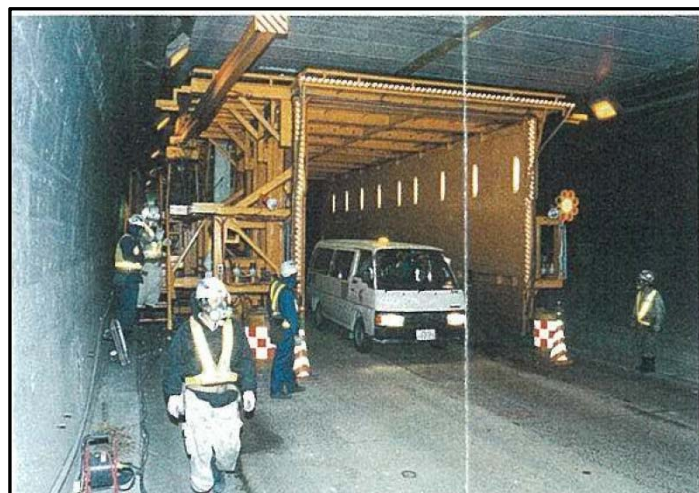
- ・**昼夜（24時間）連続片側交互規制**で工事を行います。（迂回路は設定していません。）
- ・**交通誘導員を24時間配置**しますので、誘導に従って通行をお願い致します。
- ・**撤去期間は平成26年のGW明けから8月上旬**を予定しています。（概ね3ヶ月間）
- ・**その後については、必要に応じ、平日の昼間の一時的な片側交互通行**により施工します。（日曜、ゴールデンウィーク、夏季観光及び帰省ラッシュ期間、年末年始の休日は開放）

## 影響等

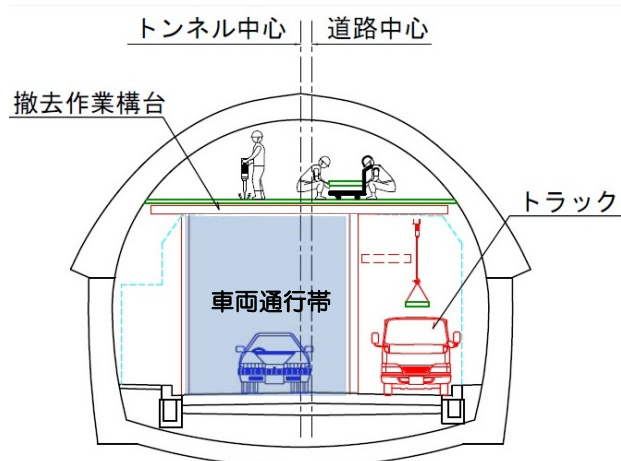
- ・**緊急車両の通行は可能**です。
- ・歩行者及び自転車の方々は**通行可能**ですが安全を考慮し**車で送迎**します。

### ○渋滞等について、

- ・時間最大交通量は深夜0時台で1,068台/hです。（H22センサス）
- ・**渋滞長**は、片側交互規制の時間及び昼夜の時間帯によって変動しますが、**深夜0時台の規制で1.5~2.0km程度**を想定しています。（通行速度20km/hを想定）
- ・工事区間の**通過に15~20分程度の待ち時間**が必要となります。
- ・近隣地区の**イベント等で渋滞が予想される場合は、誘導員の増員や広報等の対策**を行い**影響が少なくなる**ようにします。
- ・広報計画については、各関係機関と調整の上、別途お知らせいたします。



天井板撤去時のイメージ写真



工事施工のイメージ断面